



## 100年目のポケと、平和の「取扱説明書」

日々の雑感/ ethos / 2026年5月5日

憲法記念日が過ぎ、世の中の喧騒が少し落ち着いたところで、あらためて「この国のカタチ」について、遠い目をして考えてみました。



## ぼうっと眺めて、感じる危うさ

5月3日、世間がゴールデンウィークの浮かれモードに包まれる中、私は一人、憲法という名の「驚くほど薄く、しかし極めて濃厚な一通の契約書」をめぐっては、その条文をぼうっと眺めていました。

そこで頭をよぎるのは、昨今のあまりに前のめりな改憲議論です。武器輸出の解禁や防衛予算の大幅増など、本来は国会で熟議すべき重要事項が「閣議決定」というショートカットで次々と進んでいく。改正そのものが自己目的化したような今の世相は、まるでブレーキのない車を全力で走らせようとしているかのようで、底知れぬ危うさを感じます。

## 一つのベクトルに向かって、危うい加速

戦後八十年余、過去を振り返ってみても、これほどまでに異様な喧騒(けんそう)が渦巻く状況は珍しいものです。改憲を急ぐ「前のめりな人々」と、その熱量に煽られる人々。よく分からないまま追従する層がいれば、この混乱を好機とばかりに利用せんとする者たちもいる。それぞれの思惑はバラバラなはずなのに、なぜか全体としては「改正ありき」という一つのベクトルに向かって、危うい加速を続けている。見ようによっては、「緊急事態条項」や「9条」の議論が、本質を置き去りにしたまま、単なるムードや多数決の論理だけで押し切れようとしている感は否めません。

民主主義の危うさは「多数決が常に正しいとは限らない」という点にあります。

勢いに任せて一度手放してしまった権利や、権力を縛るための「制限のタガ」を元に戻すことは、歴史を紐解けば極めて困難であることがわかります。

日本国憲法が持つ、どんな時代の変遷にも揺るがない「普遍性」の尊さは、紛れもない事実なのです。

## 憲法を「スマホ感覚」でアップデートしたがる人々

近年の傾向としてありがちな、ネットの「論破師」たちが、憲法という最高法規をスマホのOSアップデートか何かのように「早く新しくしろ」と急かす姿には、少々めまいがします。

中身のコード(条文)も読まずに、「最新版なら良くなるはず」と思い込むその無邪気さ。

「書類の不備」をチェックする身からすれば、そんな軽やかなノリによる「契約変更」には、なかなか首を縦には振れません。

## 報じられない「トリセツの書き換え」

本来、国家の根幹に関わる「緊急事態条項」の危うさや「9条」の矛盾こそ、新聞や公共放送が「中立な立場」で、徹底的に解剖して国民に伝えるべきではないでしょうか。

しかし、今年の憲法記念日の報道を見渡しても、目に映るのは「改憲に意欲」という政局ニュースばかり。条文の中に潜む、かつて某国が独裁の足がかりとした「全権委任法」に似た危うい構造や、二枚舌のような論理の綻びを、正面から検証する姿勢はどこへ消えてしまったのでしょうか。

知のインフラであるはずの放送波を削ることに汲々とする一方で、これほどまでに重要な「法の不備」をスルーし続けるメディアの姿には、一抹の寂しさを覚えます。



何か一言？ まあ、私たちが生き続けられることを願おう。  
Say a few words? Well, let's hope that we continue to live.

## 八十八夜、お茶と「平和の味」

私たちがすべきことは、感情に流されて「トリセツ」を書き換えることではありません。まずは中身を深く知り、法治国家としての筋を通し続けること。人間は愚かだからこそ、学び続ける必要があるのです。次世代には、何年経っても色褪せない「生き残るための知恵」を手渡したい。

……おっと、いけない。柄にもなく、つい弁が過ぎてしまいました。

夏も近づく八十八夜。今はただ、淹れたてのお茶を啜り、柏餅を頬張る。

そんな平穏なひとときが、実はこの「濃厚な契約書」によって守られているのだと、ふうっと一息つきながら、ただ感謝して噛み締めています。

マスコミが伝えない「餅で包まれたあんこ(矛盾だらけの改憲案)」の喉に絡みつくような不気味な甘ったるさを、お茶で流し込みながら。

お代わりを淹れる頃には、少しは穏やかな気持ちで明日を迎えられるでしょうか。

そんなことを思う、憲法記念日の午後でした。

この記事はブログからの転載です。  
QRコードをスマートフォンで読み取ると簡単にアクセスできます。

<https://ethos-trust.com/blog/>



### Ethos Legal Office

あなたの人生の大切な場面を支える「柱」になります  
**行政書士イトス法務事務所**

代表 伊藤 洋一

〒254-0821 平塚市黒部丘 17-35

直通電話：0463-32-7257

メール：itoh@ethos-trust.com

